



豆やナッツ等 3歳頃までは食べさせない

事例1

1.5センチほどの豆菓子を食べていたところ、のどに引っかかった様子で苦しがつた。唇の色が悪くなった。

(当事者:1歳 男児)



©Kurosaki Gen

事例2

親が1歳の子どもに、砕いて小さくしたアーモンドを与えていた。兄弟と遊びながら食べていたら突然むせ込み、その後からせきと高熱が数日続き、入院となった。

(当事者:1歳)



ひとことアドバイス

●奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分ではなく、気道も狭い子どもが、豆やナッツ等を食べると、気道に入って気管支炎や肺炎を起こしたり、窒息したりするおそれがあります。事故が発生した場合は大変危険ですので、豆等は3歳頃までは

食べさせないでください。小さく砕いた豆等も同様の危険があります。

●小さい子どもは何でも口に入れてしまいます。家族の食べ残しを、子どもが誤って口に入れられないよう、手の届かないところに置きましょう。



さぼーとくん